

ダム・トンネル・骨材プラント濁水

濁水処理装置

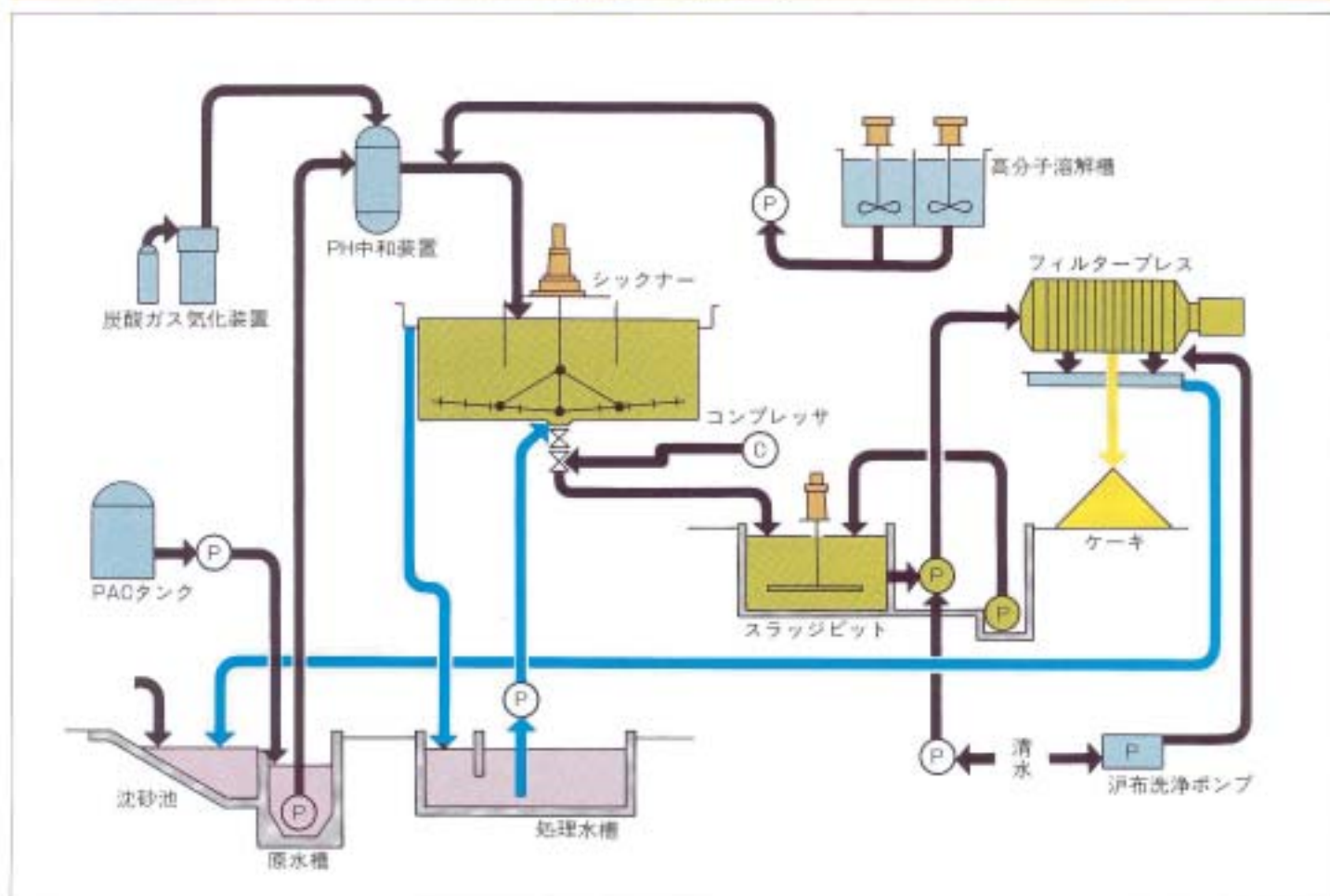


ダム・トンネル・骨材プラント濁水 濁水処理装置

ダム、トンネル、骨材プラント等建設工事から排出される濁水の処理は、建設工事を進めるにあたって、まず解決しなければならない大切な問題です。濁水処理の計画にあたっては、発生の時期、水量、水質を的確に把握し、定められた排水基準をクリアーできる処理設備の選定が必要です。

弊社では早くより建設工事に伴う濁水処理システムの研究開発に組み、経済的で高性能な処理設備を実用化してまいり好評を得ています。施工に当っては濁水の性状に適した凝集剤の選定、水質試験、さらには現地調査を行ない、現地の実状に最適の設計製作を行なっています。

フロシート(トンネル)



処理方式

建設工事から発生する濁水は工事内容や発生源、発生場所等により水量、水質共千差万別であります。問題となるのはほとんどがSSとpHであり、まれには油分、有害物質が含まれることがあります。濁水中のSSはまず原水槽で無機凝集剤を、続いて凝集反応槽で高分子凝集剤を添加して、安定した均一な粒径のフロックにして、沈澱槽で効率よく沈降させ、清澄水と分離させます。

沈降したスラッジは自動バルブにて高濃度の状態で抜き出し、ひとまずスラッジ槽に貯泥し、フィルタープレスで脱水します。

濁水にセメント等が混入し、pH値が高い場合は、原水をCO₂中和装置でpH調整した後、処理します。

処理水はpHを記録後放流もしくは循環使用します。

ラサ式濁水処理設備の特徴

1. 沈澱槽

シックナーは自動昇降式レーキを採用しているので、原水濃度の変動に対しても安定した操業ができます。又、小容量用には経済的なカラーコン型沈澱槽も準備しています。

2. フィルタープレス

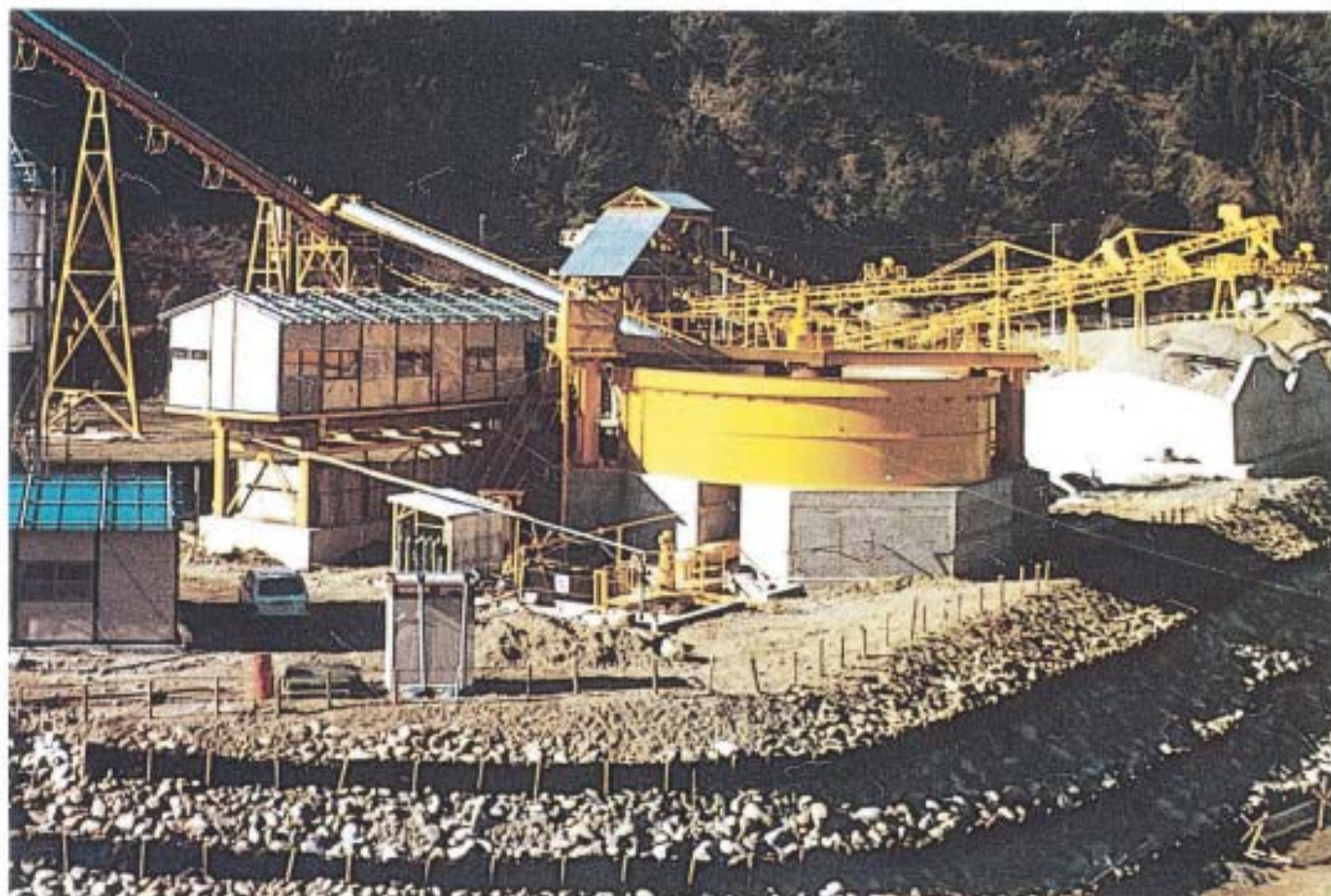
大型機種を使用し、開閉操作は自動式で数枚同時開放できますので、操作が簡単であり、1サイクル所要時間は大巾に短縮されます。

3. 中和

炭酸ガス方式を採用しているので、運転管理が容易であり、2次公害のおそれはありません。

4. 凝集剤の選定

水質試験にもとずき銘柄、添加量を選定し、無機、高分子凝集剤を併用しますので、常に安定した処理水が得られます。



5. 自動化

全ての操作面に自動制御方式を採用しているため、常に安定したプラントの運転が可能です。

6. 据付、解体、運搬容易な構造

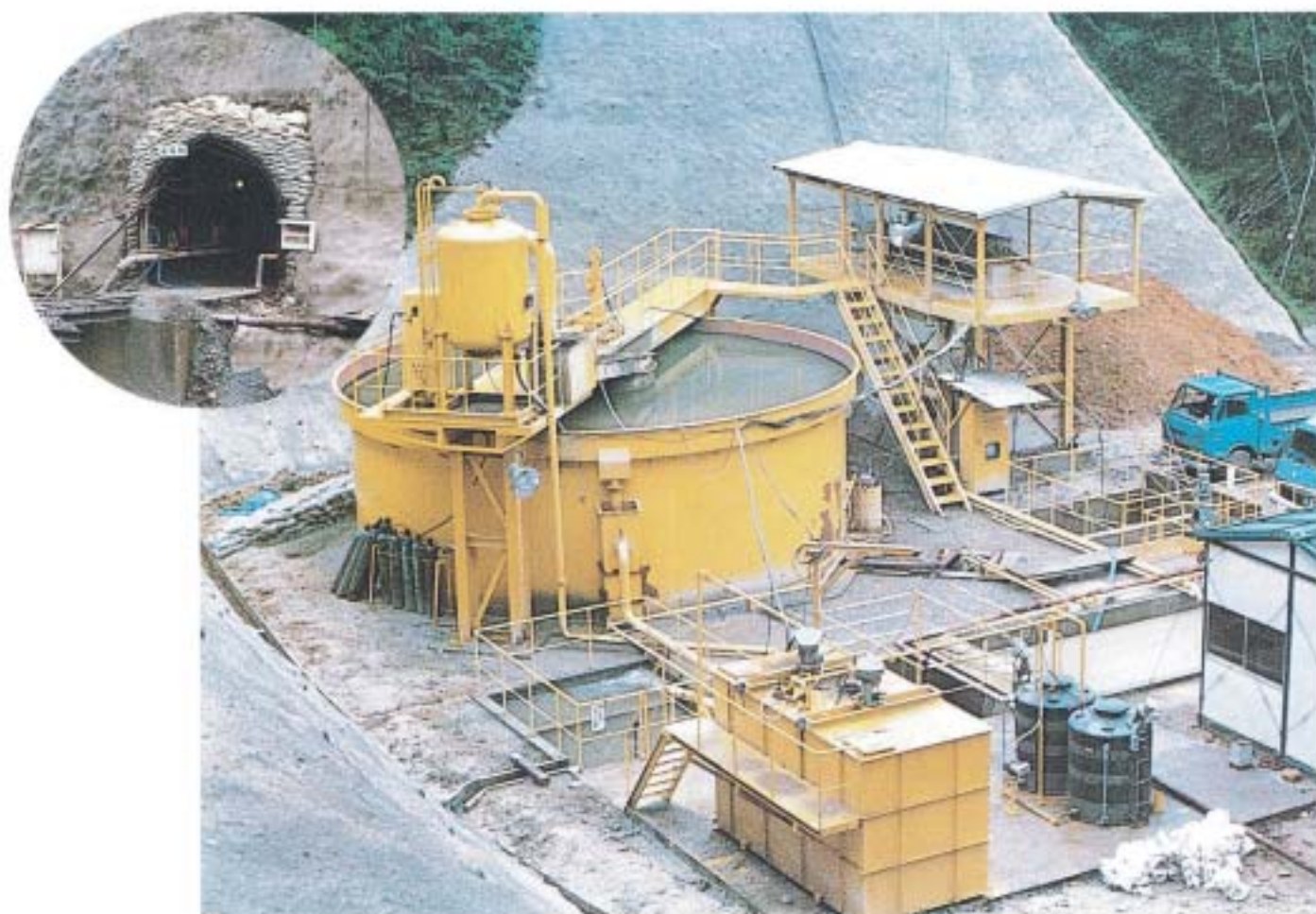
建設工事は比較的工事期間が短いので据付解体、運搬が容易で分割組立可能な構造になっています。

7. 運転指導、アフターサービス

試運転時には熟練した技術員が十分な試運転調整並びに運転指導を行います。又、お引渡後も安心して運転できるよう、アフターサービスに心掛けています。

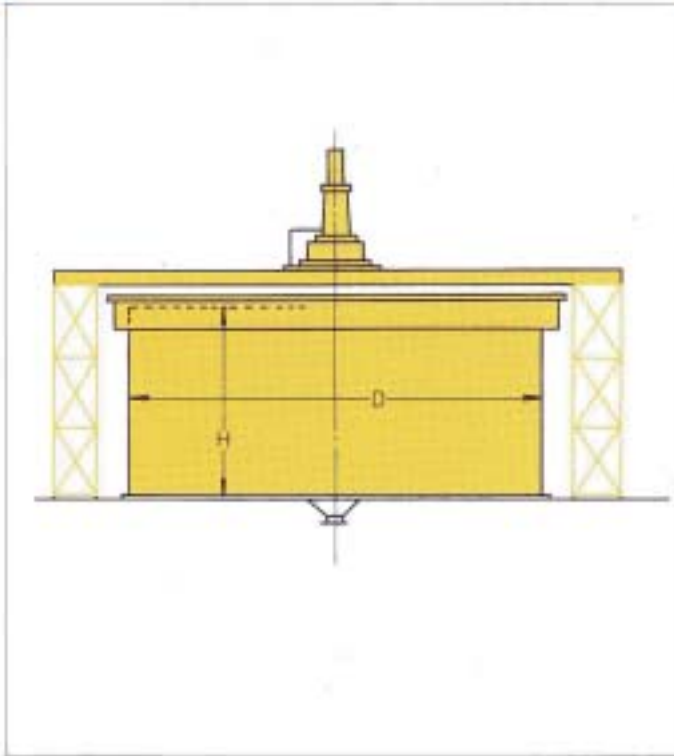
8. 技術相談

弊社には充実した研究設備とスタッフを有する水処理開発技術センターをもち、化学分析、水質試験、脱水試験等あらゆる技術相談に応じております。

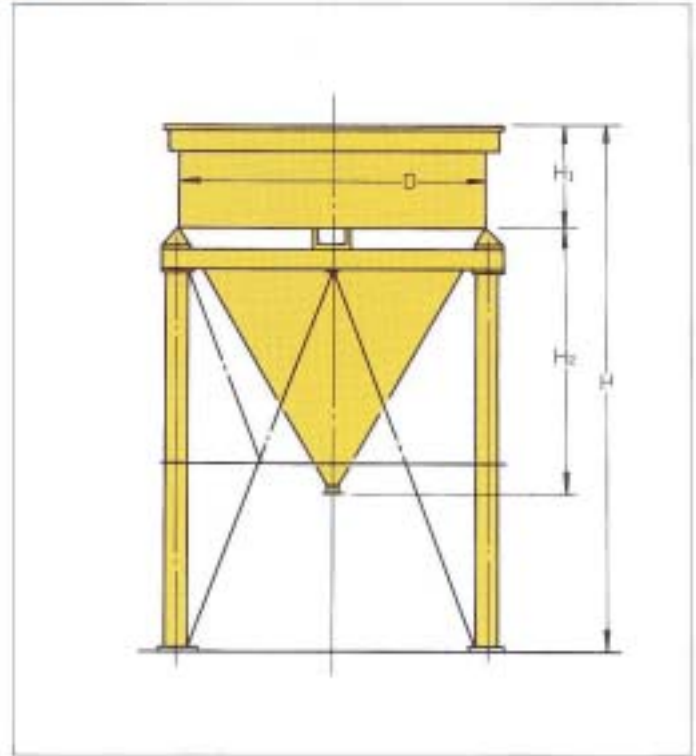


沈殿槽寸法図

●シクナー型



●カローコン型



処理水量 (m^3/h)	外径 D(m)	高さ H(m)	有効面積 (m^2)	容量 (m^3)	動 力	
					レーキ (kW)	上昇度 (kW)
120	7.0	3.0	38.5	115.4	0.4	0.4
180	9.0	3.0	63.5	190.7	0.75	0.4
240	10.0	3.0	78.5	235.5	0.75	0.75
360	12.0	3.0	113.0	339.1	1.5	0.75
480	14.0	3.0	153.9	461.6	1.5	0.75
600	16.0	3.0	201.0	602.9	2.2	0.75
720	18.0	3.0	254.3	763.0	2.2	0.75


注) 処理水量は、槽内上昇水流速度を3m/hとした場合の設計値です。

6m/hの場合は処理水量は上記の倍になります

処理水量 (m^3/h)	外径 D(m)	高 さ		有効面積 (m^2)	容 量 (m^3)
		H(m)	H ₁ (m) H ₂ (m)		
20	3.0	6.7	2.4 2.8	7.1	23.5
30	3.5	7.1	2.4 3.2	9.6	33.3
60	5.0	8.5	2.4 4.6	19.6	77.2
90	6.0	9.1	2.4 5.2	28.3	116.8
120	7.0	10.1	2.4 6.2	38.5	171.7

注) 処理水量は、槽内上昇流速度を3m/hとした場合の設計値です。
6m/hの場合は処理水量は上記の倍になります。

総発売元

 **ラセテック株式会社**

本社・工場 〒290-0232 千葉県市原市皆吉1634-1
TEL 0436-92-0829 FAX 0436-92-4062

営業所 〒133-0061 東京都江戸川区篠崎町 7-27-23
TEL 03-3678-4456 FAX 03-3678-4477

●代理店